

データ移行等を行う対象一覧①：紙資料、エクセルの一覧等を位置情報を持たないデータ

番号	課・係名	データ名	概要（現在の運用等）	統合型GISでの管理方法	既存データ状態・データ数	委託範囲	公開
1	道路交通課・管理係	道路管理に係る資料 ※個別業務特化型GISにラインデータあり	境界確定、富士見台地域の境界証明等の申請を受けた場合、申請地周辺街区の境界標識を実測し、既確定位置の復元を行い、境界確定図等を発行している。現状として、これら実測図や検討資料は紙でファイリングして管理しており、膨大な量となっている。新たな証明願がある度に、書庫から関連する実測図を検索し、申請人に提供している状況であり、多くの手間を要している。	過去に証明を発行した箇所は、すでにラインデータとして個別業務特化型GISに搭載済であるため、これらを統合型GISに移行し、紙で保管している関連資料と紐づけることで、今後は新たな境界証明の申請があった場合に、統合型GISを活用し、関連する情報を提供できる管理にしていきたい。仕様のイメージとしては、地図上のラインをクリックすると、対象の実測図等がPDFとして、表示される形としたい。	紙資料：約12,000枚	・個別特化型GISに搭載しているライン（市がShapeファイルで提供する）を統合型GISに移行 ・紙資料（12,000枚）をTIFデータ化 ・統合型GIS上のラインとTIF化したデータの紐づけ	×
2		道路管理に係る資料 ※個別業務特化型GISにラインデータなし	上記以外の紙資料は、紙地図等に手書きで位置情報を記載し、これに紐づく資料は紙で管理・保管している。	紙地図等に手書きで記載している位置情報をGIS上で表現し、かつこれに係る資料をPDFにて紐づけを行い管理したい。	紙資料：約500枚	・統合型GIS上の地図にラインデータの作成 ・関連する紙資料をTIF化し、上記ラインデータに紐づけ	×
3	道路交通課・整備係	過去の道路工事図面（発注図・竣工図）	これまでに整備係で実施した道路整備工事について、住宅地図に色鉛筆で線を引いて工事台帳を作成している。過去の工事実績を確認するには、工事台帳から工事名を特定し、該当年度の竣工図PDFを確認している。市民からの問い合わせ時や工事の起工時などに確認しているが、多くの手間・時間を要している。	紙地図に引いてある年度で色分けした線をリンクとする。リンク先に発注図・竣工図がある形に整理	住宅地図36枚×4冊に記載された線をデータ化。 工事件数：約600 ファイル数：約2000	・紙資料の工事件数約600件を統合型GISのライン化 ・統合型GIS上のラインとPDFデータ（約2,000件）の紐づけ	×
4		・橋梁調査結果 ・補修工事竣工図	市が管理している43橋について、5年に1度の法定点検が義務付けられている。国（国交省、会計検査院）や都から調査が入ったり、市民から問い合わせがあった場合、過去の調査結果（紙）及び竣工図PDFを確認して回答している。調査時、問い合わせ時などに多くの手間・時間を要している。	市内43橋について、リンクをクリックすると、過去の橋梁調査結果等が見られる	白地図1枚に記載された43橋の点をデータ化。 ファイル数：50	・紙資料の橋梁数43件を統合型GISのポイント化 ・統合型GIS上のポイントとPDFデータ（50件）の紐づけ	×
5		・擁壁調査結果 ・擁壁補修工事竣工図	市が管理している10擁壁について、国（国交省、会計検査院）や都から調査が入ったり、市民から問い合わせがあった場合、過去の調査結果（紙）及び竣工図PDFを確認して回答している。調査時、問い合わせ時などに多くの手間・時間を要している。	市内10擁壁について、リンクをクリックすると、過去の擁壁調査結果等が見られる	白地図1枚に記載された10擁壁の線をデータ化。 ファイル数：10	・紙資料の擁壁数10件を統合型GISのポイント化 ・統合型GIS上のポイントとPDFデータ（10件）の紐づけ	×
6		・大型看板調査結果 ・大型看板補修工事竣工図	市が管理している4看板について、国（国交省、会計検査院）や都から調査が入ったり、市民から問い合わせがあった場合、過去の調査結果（紙）及び竣工図PDFを確認して回答している。調査時、問い合わせ時などに多くの手間・時間を要している。	市内4看板について、リンクをクリックすると、過去の看板調査結果等が見られる	白地図1枚に記載された4看板の点をデータ化。 ファイル数：4	・紙資料の大型看板数4件を統合型GISのポイント化 ・統合型GIS上のポイントとPDFデータ（4件）の紐づけ	×
7		空洞調査結果	これまでに整備係で実施した道路空洞調査について、道路陥没があった場合などに過去の調査報告書（紙）を確認している。いつどの場所を実施したかの履歴がまとまっていないため、確認漏れが生じると共に、多くの手間・時間を要している。	市内で過去に実施した道路の空洞調査の線をリンクとする。リンク先に調査結果がある形に整理	過去に発注した道路の空洞調査結果をデータ化。 路線数：50 ファイル数：100	・紙資料の空洞調査結果約50件を統合型GISのライン化 ・統合型GIS上のラインとPDFデータ（100件）の紐づけ	×
8		街路樹診断結果	これまでに整備係で実施した街路樹診断結果について、倒木の危険場がある場合などに過去の調査報告書を確認している。いつどの場所を実施したかの履歴がまとまっていないため、確認漏れが生じると共に、多くの手間・時間を要している。	市内で過去に実施した街路樹の点をリンクとする。リンク先に調査結果がある形に整理	過去に発注した街路樹診断結果のPDFデータ。 樹木数：300 ファイル数：1500	・PDF資料の樹木数約300件を統合型GISのポイント化 ・統合型GIS上のポイントとPDFデータ（1,500件）の紐づけ	×
9	道路工事補助申請内容	新たに道路工事や掘削を実施する場合、過去に補助を受けて実施した路線については、補助申請上の手続きが必要になったり、工事実施を断らなければならない場合がある。過去の補助実績については、担当者の記憶に頼って確認している状況で、確認漏れが生じると共に、多くの手間・時間を要している。	市内で過去に補助を受けた道路の線をリンクとする。リンク先に補助申請内容がある形に整理	白地図5枚に記載された線をデータ化。 工事件数：30 ファイル数：150	・紙資料の補助工事件数約30件を統合型GISのライン化 ・紙の補助申請資料150枚をPDF化 ・統合型GIS上のラインとPDFデータ（150件）の紐づけ	×	
10	過去に発注したの工事のお知らせ	工事に伴うお知らせや交通規制は、監督員と施工業者のみが把握している状況になりがちである。市民から問い合わせがあった場合に、担当者に聞くしかなく、担当者が出張や休暇などの場合、確認に時間を要している状況。また、お知らせ内容も工事によって様々であることから、過去の事例を保存しておくことは業務の円滑化につながる。	市内で過去に工事のお知らせを行った道路の線をリンクとする。リンク先に過去のお知らせがある形に整理	白地図5枚に記載された線をデータ化。 工事件数：50 ファイル数：250	・紙資料の工事件数約50件を統合型GISのライン化 ・紙のお知らせ250枚をPDF化 ・統合型GIS上のラインとPDFデータ（250件）の紐づけ	×	
11	道路交通課 維持係	カーブミラー台帳	道路付属物のうち交通安全施設として、ゼンリン（紙媒体・2023年版）上に共架と単独を区別する印に管理番号を落として、位置図を作成したもの。これとリンクしたExcelファイルで地区別に一覧台帳で管理している。情報としては管理番号、ゼンリン地図上の座標、形状、町名地番、共架情報（電柱番号）、破損状況等がある。	それぞれ属性を選択すると、PDFデータが表示されるような形式にしたい。データは年に1回の委託で更新しておりExcelデータとして納品されている。 ※公開する情報は地図上に属性とNo.が表示されるものに限定する。	877箇所 PDF台帳データ877個 写真データ877個	・紙資料のカーブミラー877件をポイント化 ・属性としてカーブミラーの番号を想定。 ・ポイントに対してPDFデータ及び写真（各877件）の紐づけ	○
12		街路樹	市内の主たる街路樹について、住宅地図等に点を落とし管理をしている。 ※街路樹の位置については具体的な座標や位置情報はない	統合型GIS上に街路樹の位置を作成し、今後の管理に使用したい。（現状も座標値は持っていないため、GIS移行においても厳密な位置情報を持たせる必要なく紙地図から読み取れる範囲の位置にポイントを整備することとする。）	1889本	・紙資料からの街路樹1889本分のデータ化	○
13	道路交通課 交通係	案内看板	Excelにてゼンリンのページ番号や啓発内容、設置日等を入力することで管理を行っている。また、ゼンリン地図上に啓発看板の管理番号を記載することで位置管理を行っている。これら2通りでの管理（Excelとゼンリン地図）で運用しているが、場所と啓発看板の詳細を照らし合わせる必要があり、手間を要している。	啓発看板の啓発内容や設置日等については、Excelデータがあるため、これを利用して紐づけを行えるようにしたい。また、国立市全図にてゼンリン地図より位置情報を紐づけ、管理するようにしたい。	啓発看板数：約620件	・紙資料の案内看板約620件を統合型GISのポイント化 ・Excelで管理している7項目程度を属性として想定	×
14		市内バス網	2年に一度、A1表裏のバスマップを印刷（1万部）し、転入手続きの際に配布しているほか市役所市民ロビー、市内各施設で配布している。市HPでも公開している。	電子データとして管理することで、バス停名の変更や路線の新設・変更・廃止などに迅速に対応できる仕様としたい。	データはPDF ※国立市HPに掲載している「国立公共交通マップおよび同広域面」参照のこと	・バスマップから市内バス網のGISデータ化 ・バス路線はライン、バス停はポイントを想定する	○
15		自転車駐車場データ	市内で運営している、有料自転車駐車場、無料自転車駐車場について、場所や料金を市のHPに掲載している。HP上では各自転車駐車場のページを設けてあるが、同時に複数の自転車駐車場の情報を閲覧することが出来ない。地図上で各自転車駐車場を表示し、料金等簡単に比較出来るのが望ましい。	一つの地図上で各自転車駐車場を確認できるようにしたい。マーカーをクリックすると料金や空き情報を表示するなどの機能があると良い。	・自転車駐車場約15件をポリゴン化 ・属性として名称や料金を付与 ・HPに掲載している写真を紐づけ	○	
16		自転車保管場所	自転車駐車場同様、市のHPに詳細を掲載しているが、自転車駐車場同様地図上で検索できるのが望ましい。	上記の自転車駐車場と同様、地図上で保管場所の情報を表示できるようにしたい。移送手数料の料金や引き取り時に必要なものを表示。	・自転車保管場所1件をポリゴン化 ・属性として移送手数料の料金や引き取り時に必要なものを付与 ・HPに掲載している写真を紐づけ	○	

番号	課・係名	データ名	概要（現在の運用等）	統合型GISでの管理方法	既存データ状態・データ数	委託範囲	公開
17	道路交通課 交通係	放置自転車整理区域	放置自転車の撤去について、Excelで撤去自転車情報を管理している。市民から撤去されたかの問い合わせを受けることが多く、現状Excelでの検索や保管場所での問い合わせで返答を行っている。	地図上で撤去情報を確認できれば、市民は電話での問い合わせが不要となり、24時間確認を行うことが可能となる。地図上には撤去場所をマーカー表示し、クリックすると防犯登録番号や色などの特徴を表示できるようにしたい。撤去された住所を詳細までは表示するかは検討が必要。		・放置自転車整理区域3件を統合型GISのポリゴン化 ・HPに掲載している写真、「国立市自転車安全利用促進条例」のリンクを紐づけ ・統合型GIS導入後に、撤去した自転車の位置をポイントで示し、その自転車の情報（防犯登録番号、色などの特徴）を属性として入力できるようなレイヤを作成したい	○
18		高さの基準図	まちづくり条例第53条にて高さの基準を定めており、各地域に基準を落とした図である。 現在は、イラストレーターで図を作成しており座標情報を持っていない面データである。	用途地域等の照会で住所検索すると用途地域とは別に高さの基準が何mか表示される形としたい。	紙資料：1枚 (イラストレーターにて作成)	・紙資料をGISのポリゴン化	○
19	都市計画課	開発事業区域位置図	まちづくり条例に基づく開発事業の手続きが完了した案件の位置を住宅地図に落とし、事業番号を記載し台帳とリンクさせ案件概要の確認を行っている。 他部署から過去の案件について確認依頼があった際に都市計画課に声をかけないと確認出来ない状況。	平成28年度に施行されたまちづくり条例で協定締結まで至った案件の位置を落とし、位置を示したポイントをクリックすると、各案件の案件番号、住所、案件名、協定締結日、案件種別、土地利用計画図（PDF）が表示される形にしたい。	約150件 (Excelデータ)	・住所と案内図を基に各案件の位置情報約150件のGISのポイント化 ・各ポイントについて、案件番号、住所、案件名、協定締結日、案件種別を属性として表示する ・土地利用計画図のPDFデータを紐づけ	×
20		重点地区位置図	景観形成条例第10条に基づき景観形成重点地区を定めており、対象地を示した図である。 平成10年代に定めたため、紙情報のみの位置図。	用途地域等の照会で住所検索すると用途地域とは別に重点地区に指定されているか表示される形としたい。	紙資料：2枚	・紙資料をGISのポリゴン化	○
21		最新の農地図面	毎年一度、課税課から提供される農地図面（農地課税となっている土地が色分けされた白地図）に所有者や農地種別を書き込み、農地パトロール等で活用している。一方、農地の苦情や問い合わせを受けた際（特に電話）、当該農地の特定に時間を要することがある。	最新の市内農地全筆について、統合型GISの地図情報と連動させ、Shapeデータとして表示させたい。各農地は種別ごとに複数色で表示させるとともに、カーソルを合わせることでポップを表示させ、地番、地積、農地種別、所有者情報といった基礎情報を表示できるようにしたい。 ※元データは5～6月にかけて、課税課（課税台帳システム）からExcelデータ等で受領することを見込む。	A1：2枚 最大1200件	・統合型GISの地図情報と最新の農地情報の紐づけ ・課税課提供の農地図面を基に最大1200件の農地についてGISのポリゴン化（令和5年分） ・地番、地積、農地種別、所有者情報を属性として表示し、農地種別で色分け表示することを想定 ※情報の追加、削除、修正が生じた際、職員によるシステム作業が可能な使用とすること	×
22	南部地域まちづくり課 農業振興担当	水路位置	全体図面（用水路、取排水口、水田位置等）を作成し、日常業務で使用している。一方、苦情や工事の問合せを受けた際（特に電話）、当該水路の場所特定に時間を要することがある。また全体図面は平成25年に業者委託で作成し、その後直営では編集ができない状況である。水田農家の高齢化や開発の進展により、今後は廃止となる用水路が発生することも見込まれるため、都度修正が可能な媒体で管理したいと考えている。	図面上の用水路（開渠・暗渠により2色のラインデータ）、取排水口（取水口・排水口により2色の●記号）の情報を統合型GISの地図情報と連携させたい。また用水路については将来的に廃止となる箇所も見込まれるため、直営で編集（ラインデータ及び●記号の追加・削除、色分け）可能にしたい。	A1：1枚	・統合型GISの地図情報と用水路、取排水口情報の紐づけ ・紙資料の用水路、取排水口についてGISデータ化 ・用水路についてはライン、取排水口についてはポイントを想定 ※情報の追加、削除、修正が生じた際、職員によるシステム作業が可能な使用とすること	○
23		市民農園・体験農園	直営で製作及び必要に応じて更新（イラストレーター）し、希望する市民に配布している。	地図上に各市民農園・体験農園をプロット（農園の種別ごとに2色の記号）し、カーソルを合わせることでポップを表示させ、詳細情報を入力できるようにしたい。（写真やHP、SNSへの誘導なども任意で追加）	A4(片面)：2枚	・統合型GISの地図情報と市民農園・体験農園情報の紐づけ ・紙資料のGISポイント化 ・名称、所在地、連絡先等の詳細情報を属性として表示し、農園の種別で色分け表示することを想定 ※情報の追加、削除、修正が生じた際、職員によるシステム作業が可能な使用とすること	○
24		農産物直売所	過去に業者委託により紙媒体で製作、希望する市民に配布している。一方でスペースの都合上、記載できる情報に限りがある他、更新用ファイルを持ち合わせておらず、情報の更新があった場合も柔軟に対応できていないのが実状である。	地図上に各直売所をプロットし、カーソルを合わせることでポップを表示させ、詳細情報を入力できるようにしたい。（写真やHP、SNSへの誘導なども任意で追加）	A3(片面)：1枚	・統合型GISの地図情報と農産物直売所情報の紐づけ ※情報の追加、削除、修正が生じた際、職員によるシステム作業が可能な使用とすること	○
25	課税課 固定資産税係	航空写真オルソ画像 (H4～H17)	43枚の座標を持たない航空写真を所持している	所持しているデータに座標を付与し、一枚の地図として整備するH4～H17年度までの14枚所持しているが、このうち市が選定する4枚をデータ化	地図：4枚（43分割）	・43図郭（43ファイル）の航空写真画像を標定し、1つの画像を作成する ・画像の切り出し、接合調整を行うこと	○